

3月21日(月)

道 程

聖書朗読 詩篇23篇

主は私の羊飼い。私は乏しいことはありません。

詩篇23:1

イエス様は私たちの人生のすべての歩みで一緒に歩いてくださいます。あなたの人生の歩みを振り返ってみてください。庭園や樹木のトンネルなどの美しい道を歩いた時もありましたでしょうし、焼けた砂の上や砂利の上というとても辛い道を歩いた時もあったことでしょう。

しかし、毎日私たちの前には新しい道があります。神様の恵みは、日々新しいものなのです。神様への思いも新しいものです。私たちは、神様に祈って心の持ち方や行動を変えるようにお願いすることができます。神様が私たちを導いてくださるのです！

木が成長できないほどの高い山の頂上に立ち、平和なすばらしい景色を眺めるにはどのような道程があるか。ある者たちは、道に迷い、地図に載っていない場所や悪者たちに待ち伏せされ包囲されたりして悪戦苦闘する道を選ぶ。しかし、ある者は、それらの道とは全く異なり、疫病のような逃亡者たちにじゃまされることなく、天国の王の警備隊に護衛されながら安全な道をスムーズに行く道程を選ぶ。その道は前者の道程とは全く違うものである。

聖アウグスチヌス

讃美歌 511

祈り イエス様、私たちの道程と一緒に歩んでくださり、新しい道に導きくださり、今まで歩んできた道にも希望を与えてくださってありがとうございます。あなた様が私たちを大切にしてくださるのがわかります。私たちの人生における聖霊のご臨在に感謝します。

イエス様のお名前でお祈りいたします。

ジーン・ガン

テキサス州 ネダーランド

今日のカ

2022年3月21日～3月27日

翻訳 ハンコック・真由美
(コールドスプリングスキリストの教会)

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

3月22日 (火)

全 て 同 時 に

聖書朗読 詩篇31：14～24

機会を十分に生かして用いなさい。

エペソ5：16

時間は見事な構造を持っています。もしあなたに今何時か、と聞いたら、あなたは時計を見て答えるのではないのでしょうか。その時間が正確かどうかと聞いたら、ヨーロッパの原子時計をチェックして比べるかもしれません。その時間は本当に正しいのかと聞いたら、私の聞きたいことを察して、時計はつまりはソーラーシステムなのだと思います。ですから、日時計は今も現役で使われているのです。電池なしです。神様が一番初めの時計のネジを巻いてくださったのです。

全ての物事が同時に起こらないことは感謝すべきことです。誕生日、卒業式、結婚式、子供の誕生は、適当な起こるべき時に起こり同時には起こりません。もし、全ての物事が同時に起こってしまったら、人生はあっという間に終わってしまいます。

写真を見ることで昔を思い出すことができることを神様に感謝したいです。子供達の誕生、自家製アイスクリーム作り、父とトランプをした写真などを見ることができます。作家のトーマス・ウルフの著書に「汝再び故郷に帰れず」という作品がありますが、私の心境は、「汝再び故郷に帰る」です。私は記憶を辿って、何度も故郷に戻っています。人生の中の特別な様々な出来事を忘れてはいないのです。

一旦立ち止まってください。瞬間瞬間を十分にかみしめましょう。楽しかった時を思い出してみましょ。そうする事で神様からの恵みに感謝できます。神様はいつもあなたと共にいてくださいました。今も共にいてくださっています！心から喜ぼうではありませんか！

讚美歌 77

祈り 宇宙の造り主である主よ。あなた様の全能の御力に、限界のある人間は驚くばかりです。私たちに与えられた時間や経験という祝福を楽しませていただいていますことを感謝します。

イエス様のお名前を通してお祈りを捧げます。アーメン。

ステーブン・クラーク
カリフォルニア州 ブライス

3月23日 (水)

神様は死んでしまったに違いない

聖書朗読 詩篇33篇

主は正義と公正を愛される。地は主の恵みで満ちている。

詩篇33：5

マルティン・ルターは、自身の最も困難な時代にヴァルトブルグ城に隠れていました。時の権力者たちがルターを宗教の権威を脅かすものとして投獄しようとしていたからです。ルターは深く落胆していました。

彼は、勇気と「正しいものは正しく」そして、いかなる結果をも恐れないという意思を持って常に敵に立ち向かいました。しかし、その頃のルターは投獄されないように身を隠していました。そして、そんな生活の中、自分自身を見失ってしまいました。彼は聖書をドイツ語に訳すのに時間を費やし、100以上のトラクトを書いていました。しかし、結局は全てうまくいかないのではないかと恐れていました。

彼の愛する妻のカタリーナはルターを励まそうとしましたが上手くいきませんでした。ある日、朝食の時に彼女は夫にこう言いました。「あなたがそんなに落ち込んでいるなんて神様は死んでしまったに違いないわ。」驚いた彼はこう叫びました。「何を言うんだ、君は。」しかし、夫を現実に戻そうとする妻の努力は実りました。彼は彼女の言わんとする事を理解したのです。

私たちにとっての暗黒の時代にも神様は死んでなどいなかったと確信できます。神様は今でも私たちが一歩一歩あゆむ時に一緒にいてくださっています。肉体的なそして霊的な敵が目の前にいても、いつでも神様は生きておられて活躍して下さるのです。イエス様はご自分の弟子たちに「私は、世の終わりまでいつもあなたがたと共にいる。」と言われました。

讚美歌 404

祈り 親愛なる父よ。私たちが疑ってしまう時、助けてください。怯んでしまう時、強めてください。戦う時、勇気をください。

イエス様のお名前を通してお祈りいたします。アーメン。

ウイリアム・E・マクドナフ
アーカンソー州 マウメル

3月24日(木)

苦しむ時そこにある強き助け

聖書朗読 詩篇46篇

やめよ。わたしこそ神であることを知れ。

詩篇46：10

詩篇46篇を読むと、神様がいつでも「苦しむ時そこにある強き助け」となってくださる備えをしてくださることがわかり心が平穏になります。

よく考えてみますと、信仰が恐れに対する最も冷静な対応でありますし、信頼することが困難に対する理にかなった回答ではないかと思えます。

詩篇46篇は「神はわれらの避け所、また力。苦しむとき、そこにある助け。」という確約から始まります。なぜなら、神様は私たちの避け所であり力であり助けであり「それゆえわれらは恐れない。」(2節)からです。「万軍の主はわれらとともにおられる。」(11節)のです。私たちはこれを聞いたがっていると思えます。

私たちが本気で神様を避け所とし力とするならば、苦しんでいる時に起こってくる様々な事態を異なった目で見ることができないのでしょうか。神様は何が起こっているのかご存知ですし、神様の計画は全人類の計画よりも偉大なのです。この詩篇の中で神様は「ヤコブの神」と2回言及されています。ヤコブに忍耐深く神様を信頼することを教えた神様と同じ神様であると思ひ出させてくださっているのです。

ヤコブは神様について学ぶことがたくさんありました。しかし、最後には、「きょうのこの日まで、ずっと私の羊飼いであられた神。」(創世記48：15)と認めました。

平和とは問題がないということではなく、神の臨在があるということである。

オズワルド・サンダース

讚美歌 59

祈り 天のお父様。あなたは、苦しい時に助けてくださると断言してくださっています。恐れそうになった時、あなたの約束に身を避けます。

イエス様の御名前によってお祈りいたします。アーメン。

デイビッド・ギブソン

テキサス州 コマース

3月25日(金)

昔はどうしていたのか

聖書朗読 詩篇49篇

ああ、神の知恵と知識の富は、なんと深いことでしょう。

神のさばきはなんと知り尽くしがたく、神の道はなんと極め難いことでしょう。

ローマ 11：33

孫娘が聞きました。「おじいちゃん、携帯電話やコンピューターが無かった頃は どうしてたの。」おじいちゃんはこう答えました。「それ無しでやってたんだよ。携帯もコンピューターも存在しなかったから、それ無しでね。」テレビのリモコンもテレビもないときはそれなしで生活していました。

車のナビやペニシリンや電子レンジ、レントゲン、飛行機、コピー機、水道や電気のある近代的な家が存在する以前はどうしていたのでしょうか。それ無しでやって いたのです！

停電したり、断水したりすると、私は電気がつくことや蛇口から水が出ることが当たり前だと思っていたのだと反省します。そして、外国の難民キャンプにいる人たちやダンボールや簡易な小屋で暮らす真に貧しい人たちのことを考えます。私たちの多くは、今日の便利さや快適さ無しで暮らすとなるとかなり苦労するでしょう。

ある時、知り合いの裕福なご婦人が、彼女の自宅の9千万円の花瓶の話をしました。その後、彼女は自分がお金があるとかないとかはあまり大事なことでないところ と言いました。「花瓶とかそういうものは私には全然大切じゃないの。橋の下に住ん だって私は幸せだわ」と。私は「自分はどうかろう。」と思いました。

讚美歌 512

祈り 聖なる神よ。物質的なものに惹かれてしまうのが正直な私の姿です。敵の誘惑に屈してしまう私をお赦し下さい。

イエス様のお名前でお祈りします。アーメン。

ボブ・メイズ

テキサス州 ラボック

3月26日(土)

瓶の中の涙

聖書朗読 詩篇56篇

どうか私の涙を、あなたの皮袋にたくわえてください。

詩篇56:8

私はALS(筋萎縮性側索硬化症)になった初期の頃から、神様の栄光を表せるように祈っていました。夫と私がこの病氣と向き合っている様子が、神様を信じるのをためらっている人たちを励ませるように祈ってきました。

苦しんだり、失望している状態でどうやって神様の栄光を表すことができるのでしょうか。第一には、神様と繋がってなければなりません。涙を流す時、苦しい環境を受け入れるまでの時間、限界がある時、失望している時にです。私たちは神様の中にいるのです!神様は、私たちの不平、悲しみ、苛立ちに耳を傾けてくださる強い方です。そういう只中でも一緒にいてくださいます。神様は、私たちの涙や夜に口ずさむ賛美や聖書を声に出して読むことを大切に受け止めてくださいます。

ダビデは恐ろしいペリシテ人に囚われていた時にこの詩篇56篇の詩を書きました。ダビデは自分の苦しみや恐怖を表現することを恐れませんでした。ダビデは神様に敵から守ってくださるように堂々とお願いをすることを恐れませんでした。神様は、子どもであるダビデを救い、夜も守って下さり、涙を流さないように助けてくれる親として描かれています。

神様はあなたが涙を流さないように助けてくださいます。あなたの涙を皮袋で受けとって下さるほど近くにいてくださるからです。この神様は私たちの罪を思い出さない方で、私たちが涙を流さないように助けてくださる方です。神様は私たちと一緒にいてくださいます。

讚美歌 87B

祈り 私たちの父であられる神様。あなたは約束を守られるお方です。涙を流さないように助けてくださるお方です。今もこれからも永遠に、良いことのために私たちの心の中におられて働いてくださいます。

イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。

レベッカ・H・ターリー
テキサス州 ラボック

3月27日(日)

大事なことを第一に

聖書朗読 詩篇62

主はわが巖、わがとりで、わが救い主。

詩篇18:2

ダビデは、神様の心を追い求める人でありました。若い頃は、一人で羊たちと過ごし、神様と対話する時間が十分にありました。もしかしたらダビデにとっては、神様とコミュニケーションの取れる心地良い時期だったかもしれませんし、聞いたことに何も疑問を抱かなかった時期かもしれません。

詩篇62でダビデはただ神様の救いを待つ心構えでいること、神様を自分の巖として救い主として信頼することを2回繰り返しています。ダビデが神様へ信頼をのべた言葉はダビデ自身を励ましたことでしょう。しかし、この素晴らしい信仰の人は、彼や彼の努力に反対する人たちに向けて否定的なことを4節に渡って述べました。

人生上の大変な困難にあった時、私たちはどのように生きていくことができるのでしょうか。難しい決心をしなければならない時、嫌な思いをした時、努力が報われない時、どうすればいいのでしょうか。自分の中の恐れを認めダビデの強い勇気付けられる詩を繰り返し自分に当てはめることが問題解決に繋がるかもしれません。ダビデの言葉を口にしてみましょう。「力は神のものであることを。主よ 恵みもあなたのものです。」(詩篇62:11、12)

讚美歌 492

祈り 父よ。あなたは私たちのすべての悩みをご存知です。あなたの大いなる力によってあなたを信頼することができますようにお祈りします。

イエス様のお名前によってお祈りいたします。アーメン。

ノーマ・プリビット

カルフォルニア州 サザンオークス